

令和4年度 丹生川中学校 学校運営構想

高山市小中学校教育

【教育の方針】

郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む

【教育の重点】

挑戦し続けるたくましさの育成
～達成感と貢献感を積み重ねることが
挑戦するエネルギーになる～

【学校課題】

- 一人一人の学力を伸ばす
- 自分の考えを大切にし、表出できる
- 与えられた課題だけでなく、さらに追及する学びができる
- 人の気持ちを考えて、行動できる
- 人と違うことを大切にし、人の違いも受け入れることができる
- 将来的に、地域のため自分に何が出来るか考えることができる

【学校の教育目標】

自ら・共に

考える・判断する・行動する

【重点活動】 教科指導

- 学年担任制の導入
- 小中連携
- 郷土学習「にゅうかわ学」

【指導重点】

	「自ら」を育てるために	「共に」を育てるために
学習	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教科における徹底した教材研究 ・単元を貫く課題の明確化、単位時間の個の評価の蓄積 ・理由根拠を明確にして発言する授業づくり ・わからない・できない・間違いを出せる授業づくり ・個の生徒の伸びを確認しあえる教科部会 ・個人追究での効率・効果的な ICT の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰とでも交流し合えるペア(グループ)学習の設定 ・自分と違う意見を取り入れる話し合い活動の設定 ・習熟度に応じた指導に偏見を持たせない指導 ・わからない・できない・間違いを学び合う授業づくり ・生徒の関係や学級の課題を出し合う教科部会 ・交流場面での効率・効果的な ICT の研究
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・「新しい自分づくり」の心を育てる指導 ・「自ら」「一人でも」を行動する姿の認め ・小さな頑張りを見つける・広める ・効率的・効果的な方法を考えさせる指導 ・SNS や睡眠時間を自己管理させる指導 ・自分から挨拶、大きな声で返事、発言、合唱させる指導 ・ゴミを拾い、汚れた所を美しくさせる指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・「新しい自分づくり」を認め合う集団づくり ・「一人でも」と「共に」の違いを理解させる指導 ・迅速な情報共有の習慣の徹底、システムの構築 ・誰とでもグループになれる集団づくり ・仲間の姿を変える呼びかけ、姿で返す周囲を育てる指導 ・嘲笑・目くばせを許さず、その瞬間に指導 ・平等な係、グループ、仕事内容の決め方の見届け

地域と協働する郷土教育

郷土学習「にゅうかわ学」の完全実施（小中連携・国学院大学との協働）

・卒業時に「将来的に、地域のために自分に何が出来るか」を問う学習活動

1年〔地域の理解〕

2年〔地域に自分ができること〕

3年〔地域の活性化〕

家庭・PTA・地域との連携指導「学校運営協議会」「すくなっこ連携協議会」「支所会議」

・学校の課題の共有する

・子供たちの安全を守る

